

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	19142
課題名	医療ビッグデータを活用した本邦の排尿障害治療薬処方実態
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2025年03月31日
研究の対象	株式会社日本医療データセンター(JMDC)の提供する診療報酬請求情報(レセプト)データベースのうち排尿障害疾患関連の病名がある2005年1月～2019年3月までの登録患者を対象とします。
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（JMDC社が提供する匿名加工されたレセプト情報 ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：千葉大学医学部附属病院）（提供方法：パスワードロックをかけた電子ファイル） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	代表：旭川医科大学インスティテューショナル・リサーチ室 笠茂紗千子 旭川医科大学病院臨床研究支援センター 松本成史 旭川医科大学病院薬剤部 田崎嘉一 分担：千葉大学医学部附属病院臨床試験部生物統計室（川崎洋平）
研究の意義、目的	医療ビッグデータを活用し、本邦における排尿障害治療薬の処方実態を明らかにし、今後の薬物治療のあり方を検討するための基盤となる研究を行います。
研究の方法	JMDCの大規模データベースを用い排尿障害関連疾患をもつ患者さんにおける排尿障害治療薬の処方内容やパターンなどを中心に解析を行います。 なお、扱うデータは、個人情報保護法等に定める匿名加工基準を満たすように、あらかじめ個人を識別することや個人情報を復元することができないようにしたJMDCの匿名加工情報です。そのため、個人が特定されることはありません。
その他	特になし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 【研究責任者および研究代表者】 氏名：笠茂紗千子 旭川医科大学インスティテューショナル・リサーチ室 住所：〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話：0166-68-2291